

特集

THE ロボット支援手術

ロボット支援腎部分切除術(RAPN)/ロボット支援
膀胱全摘除術(RARC)/新たな術式の徹底理解

企画にあたって

今月号は先月号に引き続き、ロボット支援手術の特集第2弾です。2015年に特集号を企画したとき、保険適用であるロボット支援手術は、根治的前立腺全摘除術のみでしたが、この6年の間に、腎癌に対する腎部分切除術、膀胱癌に対する根治的膀胱全摘除術・尿路変向術、腎盂尿管移行部通過障害に対する腎盂形成術、骨盤臓器脱に対する仙骨脛固定術が新たに加われました。

ロボット支援腎部分切除術は、超音波検査やCT検査の普及による小径腎癌の増加も相まって、今や標準的手術となり、これまで腹腔鏡下手術では躊躇してきた埋没型腫瘍や腎門部腫瘍などの難症例に対しても積極的に行われるようになりつつあります。また、ロボット支援膀胱全摘除術は、ロボット支援前立腺全摘除術の経験を活かし、開放手術に比べてより正確で出血量の少ない手術が可能となりました。ロボット支援腎盂形成術は、腹腔鏡下手術における縫合の難易度の高さを克服しましたし、ロボット支援仙骨脛固定術を含め、小児泌尿器科および女性泌尿器科領域、そして良性疾患に対してその適応が広がりました。

一方で、いわゆるロボット加算が現在認められているのは、根治的前立腺全摘除術と腎部分切除術のみです。それにはさまざまな理由があるとは思いますが、ロボット支援手術の有用性の十分なエビデンスが蓄積されているのが2術式のみであることもその一因です。これら2術式以外にも、実際に手術をしてみるとその有用性を実感する術式もあります。

また、今後新たな術式が保険適用手術になることも予想されます。これら新しい術式においてさらなるエビデンスを蓄積していくことによって、ロボット加算のみならず、患者さんへのよりよい医療が提供できることにつながるものと思います。

本特集が皆さんのさらなる技術向上に加え、その一助になることを切に祈っております。

福島県立医科大学医学部
泌尿器科学講座

小島 祥敬

■動画配信のお知らせ

本号の特集では、本文中に▶動画マークのあるものにつきまして、関連動画を閲覧できます。頁下にごございます QR コード(二次元バーコード)をスマートフォン、タブレット PC などで読み取ってご覧ください。パソコンからご覧になる場合は URL を入力してください。なお、動画閲覧の際は以下の注意点を必ずお読みください。

【ご注意】

- ・動画を再生する場合、ご自身の携帯電話会社との契約に基づきパケット通信料が発生いたします。パケット通信料はご自身のご負担となります。
- ・ご使用のスマートフォン、タブレット PC などがパケット定額サービスなどに加入されていない場合、多額のパケット通信料が請求される恐れがありますのでご注意ください。
- ・フィーチャーフォンには対応しておりません。何卒ご了承ください。
- ・本特集の動画の公開期間は 2023 年 11 月末までです。